

一丁目自治会
会長 横川 満

<神明台処分地の現在と課題>

今回は、平成23年3月31日をもって、埋立を終了した神明台処分地の現在と今後の課題について、横川会長からの報告となります。(今年9月6日処分地見学会参加)
神明台処分地は、緑園地区からも徒歩圏内にあり、埋立中から多くの問題を抱え現在に至っています。住民の皆様はこの点を十分理解いただき、今後の継続対応課題と考えます。
なお、神明台処分地の参考資料として横浜市のホームページに(サイト 処分地管理課)多くの情報が記載されています。(相原)

神明台処分地は昭和48年から平成23年3月まで約37年間横浜市の廃棄物の埋め立て処分を一手に引き受けてきた。その量は650万トンにもなる。膨大な量だ。現在、廃棄物処理法に従い仮覆土を実施しているが、排水処理施設、ゴミの中継基地である神明台輸送事務所、資源物の中継ヤード、粗大ごみの自己搬入ヤードは今後も処分地内に残ることとなっている。

さらに大きな課題も将来にわたり残っている。その一つが、ゴミ層を通過した浸出水の排出処理である。排水処理施設では、薬品処理、生物処理により浄化後、子易川(1丁目の遊水池内を流れている)等に放流している。この浸出水の処理は、これからも続くのである。加えて、緑園で最も高い標高80メートルの所に位置する神明台処分地。地震等で地層のズレによる埋め立て地や浸出水処理施設の崩壊を心配する声もある。

浸出水に含まれる重金属類、カルシウム、有機物類等が地下水に混ざったり、子易川を汚染したりすることが無いように排水処理場では今日も浸出水の処理は続く。今後も、処分地近隣住民による安全・安心を考えた神明台処分地の長期的なチェック体制のシステムづくりが望まれている。



説明会



処分地から緑園



排水施設



跡地利用



夏休み 避難所 泊体験



7月23日から24日にかけて、**緑園青少年居場所作り協議会(*1)**主催で夏休み避難所泊体験が緑園西小学校で開催され、緑園一丁目から11名の小学生(総勢小学生83名*2)が参加しました。

泉消防署緑園消防出張所の防災教育、ゲーム大会、段ボールを使っての就寝、ご飯炊き出しなど、子供が防災について考えてもらう良い体験となりました。(栗竹)



*1)委員長は一丁目の青少年指導委員もされている奥津さん。緑園の小学生から青少年を対象にこのような活動を行っています。
*2)一丁目以外に2から7丁目まで、また新橋や岡津、名瀬の小学生も参加しました。

The history of Ryokuen

緑園西小学校校歌の作曲
「洗練の街」から元気な巣立ちを願って
茂木 一衛



次男が緑園西小にお世話になっていたとき、校歌作曲の募集がありました。横浜国大で芸術・音楽学を講じておりますので専門を生かして学校のお役にたてればと作らせて頂いた次第です。

校歌は一般に2、4拍子が多いようですが、8分の6拍子で書きました。緑園の文化的に洗練された環境を曲想に反映させたく、音楽の都ウィーンのワルツのイメージで歌ってほしいと思いました。浮き立つような軽さと速いテンポで明るく元気よく子どもたちに歌ってもらえれば幸いです。運動会などで器楽で演奏する際には、1小節を2拍にとり、きびきびマーチ風でもかまいません。部分二部合唱でも歌えるようにしたので、ハーモニーも楽しんでもらえたらと思います。

...西小ではPTA会長やPTAコーラスの指導などさせて頂きましたが、その後は本務等で多忙で、学校へはすっかりご無沙汰しております。西小の子どもたちには校歌でも意図したように軽やかに羽ばたいて、自分の夢を実現して欲しいと願っています。

今回は、地区の歴史と文化に深い関係を持つ方として、子供たちに馴染み深い緑園西小学校の校歌を作曲し、一丁目にお住まいで自治会幹事の「茂木一衛」先生にご寄稿いただきました。先生は、大学で教鞭を執る傍ら、音楽関係の著書や国内・海外でのクラシックコンサートの指揮指導、音楽ドラマを主催されるなど、精力的にご活躍されています。来年、開校20周年を迎える西小の校歌は「緑園西小学校」のホームページで視聴できます。爽やかに軽快なメロディーをお楽しみ下さい。(富塚)

趣味紹介 『折り紙』

今回は、女性初登場です！その趣味とは、「折り紙」です。

毎月第2・第4金曜日**緑園サロン**で開催されています各サークルの1つ、それが「折り紙」です。講師役の「丁野政子さん」そして**1丁目の「杉山江美子」**や数名の方が中心となり活動されています。

緑園サロンの参加基準は60歳以上とのこと、実は取材前のイメージは・・・小さな会が、いくつか、静かに、活動しているのだろうと勝手に想像していたのですが・・・失礼しました<m(_)_m>

折り紙を始め、コーラス・カードゲーム・花札そして極めつけは麻雀(なんと4卓、4時間の活動！、健康麻雀です)と各サークルがあり、50名以上の参加者とボランティアの方が元気に活動されていました。(正直そのパワーに圧倒されました)



さて、肝心の折り紙サークル。これも私が想像していたものとは異なり、立体的なお人形や毬、小さな写真では分かりづらいのですが、球形の骨組みのような折り紙と色々あり、、、す、すっ、素晴らしい！(先日のふれあい祭りでも出品され、小学生に教えていました)しかし、どうやって作るの？といった物ばかりでしたが、丁野さんと杉山さんに聞くとゆっくりと時間をかけて、根気よく続ければ誰でも作れるとのことでした。どうも皆様、ありがとうございました。そして、緑園サロンの活動は60歳以上の方なら誰でも参加できるとのこと(当日も1名新規参加者がいました)、興味のある方は連絡をください。(相原)



緑園サロン
体操から開始



折り紙チーム！



ふれあい祭り



札の絵が綺麗

編集後記 暑い暑いと言っていたがいつの間にか、11月となりました。通勤時を通る稲荷谷公園も朝は枯れ葉が舞っています。さて、今回は初めて「緑園サロン」を訪問しました。記載通り皆様のパワーに圧倒されました。広報活動を通して地域の方々と知り合う事が出来るのは、私にとって大きなメリットとなっています。皆様、ありがとうございます。
今後の広報誌ですが、今号のような定例誌とは別に、特別特集号を計画中です。『我が家のペット』『東西南北 私の故郷紹介』等の原稿も募集していますので、ご協力をお願いいたします。